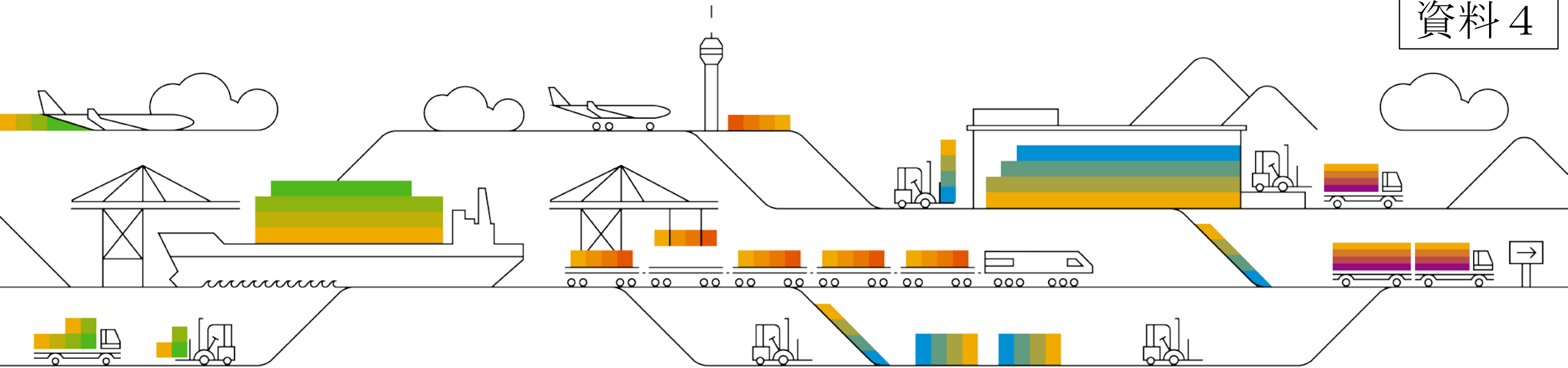




全銀協 XML 新システム 2020年一斉移行に向けた SAPの取り組みについて

グローバリゼーションプロダクトマネジメント日本, SAPジャパン株式会社
2017年10月24日

CUSTOMER

Agenda

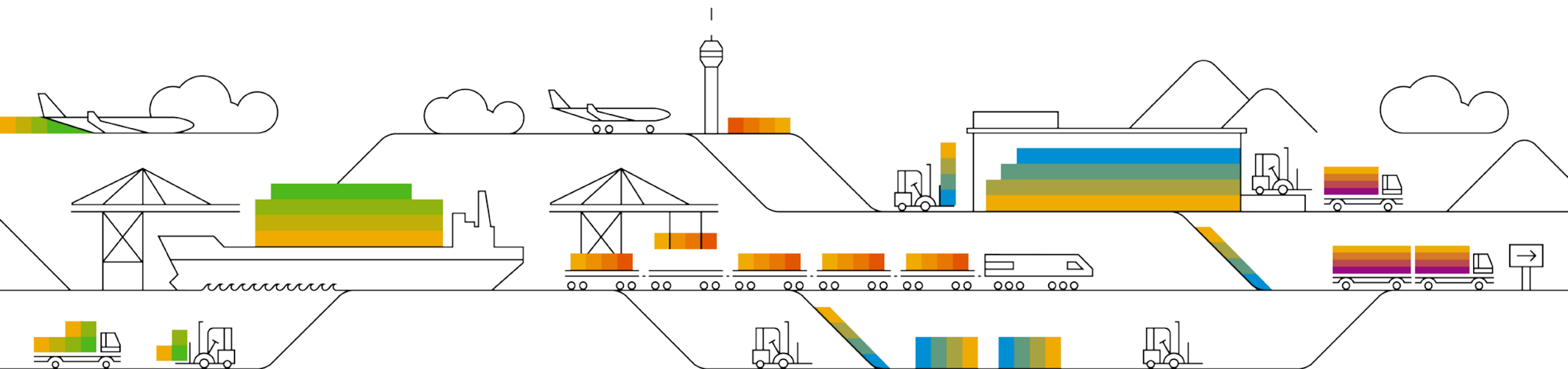
全銀協 XML 新システム 検討の経緯

(概要)ERPシステムと全銀協XML新システム

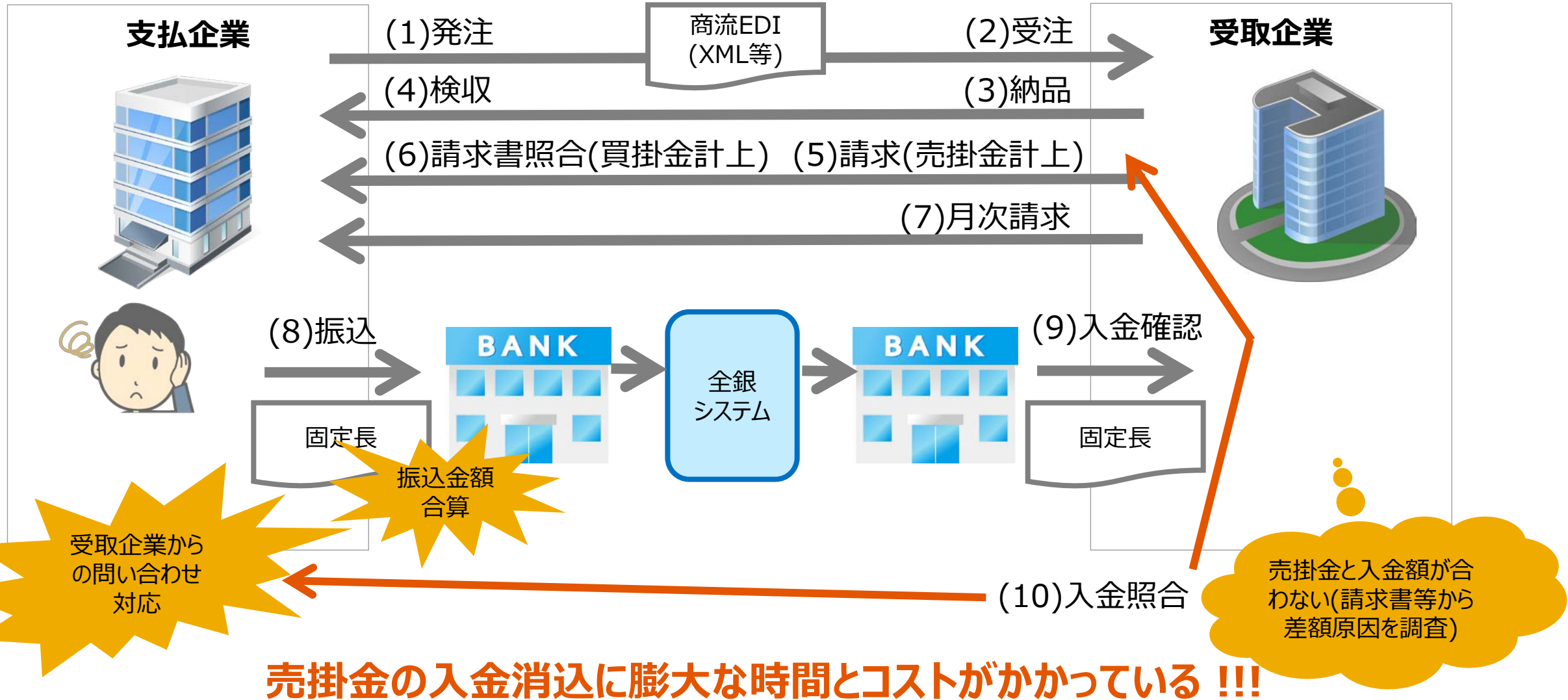
(開発スケジュール) XML新システム

全銀協 XML 新システム 検討の経緯

(注)「全銀ネット・XML新システム(金融・ITネットワークシステム) API仕様書説明会」での配布資料より引用して、SAPジャパンで加工したものです。



入金消込に係る企業側の現状と課題 (1)



入金消込に係る企業側の現状と課題 (2)

総合振込 データレコード

データ	1	データ区分	N	1	2:データレコード
	2	被仕向銀行番号	N	4	統一金融機関番号
	3	被仕向銀行名	C	15	左詰め残りスペース
	4	被仕向支店番号	N	3	統一店番号
	5	被仕向支店名	C	15	左詰め残りスペース
	6	手形交換所番号	N	4	統一手形交換所番号
	7	預金種目	N	1	1: 普通, 2: 当座, 4: 貯蓄, 9: その他
	8	口座番号	N	7	右詰め残り前「0」
	9	受取人名	C	30	左詰め残りスペース
	10	振込金額	N	10	右詰め残り前「0」
	11	新規コード	N	1	0 (その他)
	12	顧客コード1	N	10	依頼人が定めた受取人識別のための顧客コードを表わす
	13	顧客コード2	N	10	依頼人が定めた受取人識別のための顧客コードを表わす
	14	振込指定区分	N	1	7: テレ振込, 8: 文書振込
	15	識別表示	C	1	Y 又は スペース
	16	ダミー	C	7	スペース
					120
	12&13	EDI情報	C	20	15 が "Y" のときは、12, 13 の内容は、EDI情報を表わす。

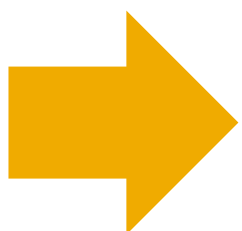
振込入金通知 データレコード

データ	1	データ区分	N	1	2:データレコード
	2	照会番号	N	6	右詰め残り前「0」
	3	勘定日	N	6	YYMMDD (和暦)
	4	起算日	N	6	YYMMDD (和暦)
	5	金額	N	10	右詰め残り前「0」
	6	うち他店券金額	N	10	右詰め残り前「0」
	7	振込依頼人コード	N	10	仕向銀行からの為替通知に記載された振込依頼人の識別コード 右詰め残り前「0」
	8	振込依頼人名	C	48	左詰め残りスペース
	9	仕向銀行名	C	15	左詰め残りスペース
	10	仕向店名	C	15	左詰め残りスペース
	11	取消区分	N	1	1: 取消
	12	金額(2)	N	12	右詰め残り前「0」
	13	うち他店券金額(2)	N	12	右詰め残り前「0」
	14	EDI情報	C	20	仕向銀行からの為替通知に記載されたEDI情報 左詰め残りスペース
	15	ダミー	C	28	スペース
					200

企業側が自由に使える「EDI情報欄(20桁)」が用意されているものの、20桁では足りない※等の理由により、あまり利用されていないのが実情である。

※支払通知番号や請求書番号、日付など消込に必要な情報が桁数不足で格納できない。

例(イメージ)

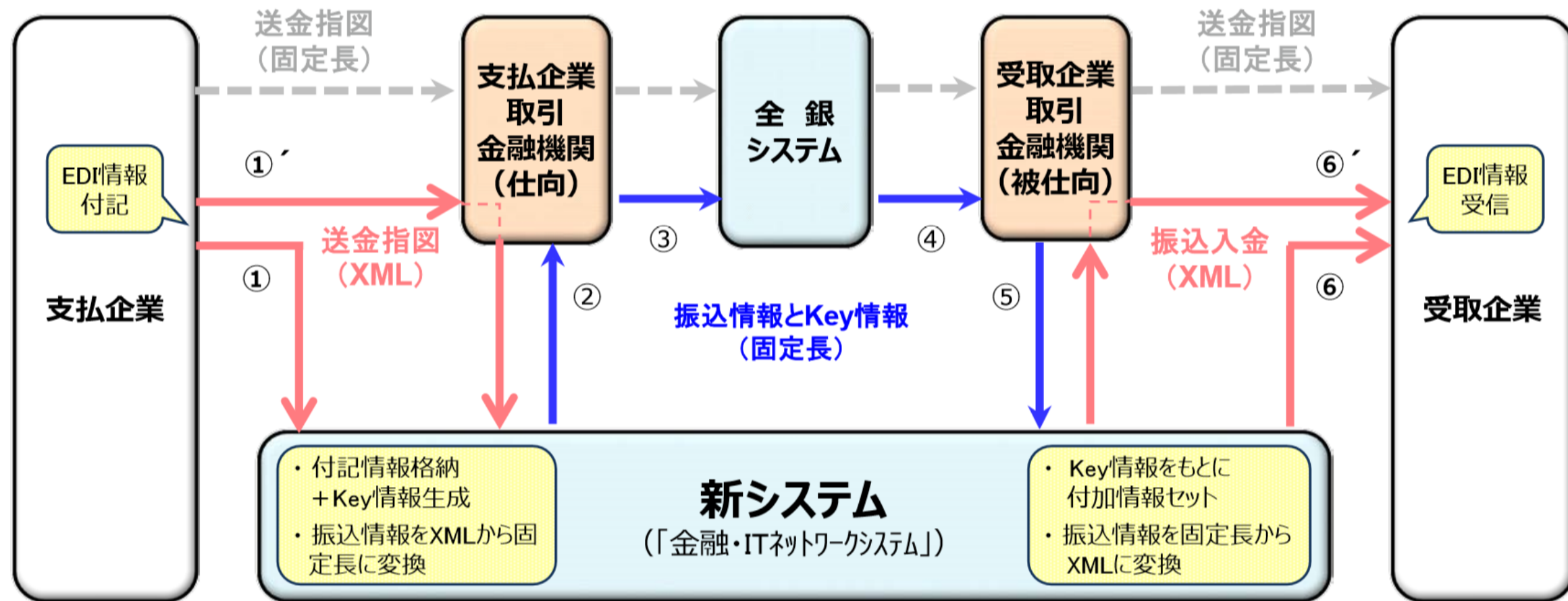


```
<EDI情報>
<支払通知番号>1111111</支払通知番号>
<支払通知発行日>20170820</支払通知発行日>
<請求書番号>2222222</請求書番号>
<支払人企業法人コード>999999</支払人企業法人コード>
<商品名>おいしい水</商品名>
<単価>120</単価>
<数量>100</数量>
</EDI情報>
```

XMLフォーマットは、データ項目の内容、長さやデータ間の関係を自由に設定、変更できるなど柔軟性、拡張性を備えています。

金融EDI情報としてどのような商流情報を格納すべきかについては全銀協で制定されず、企業間によって整理頂くことになります。

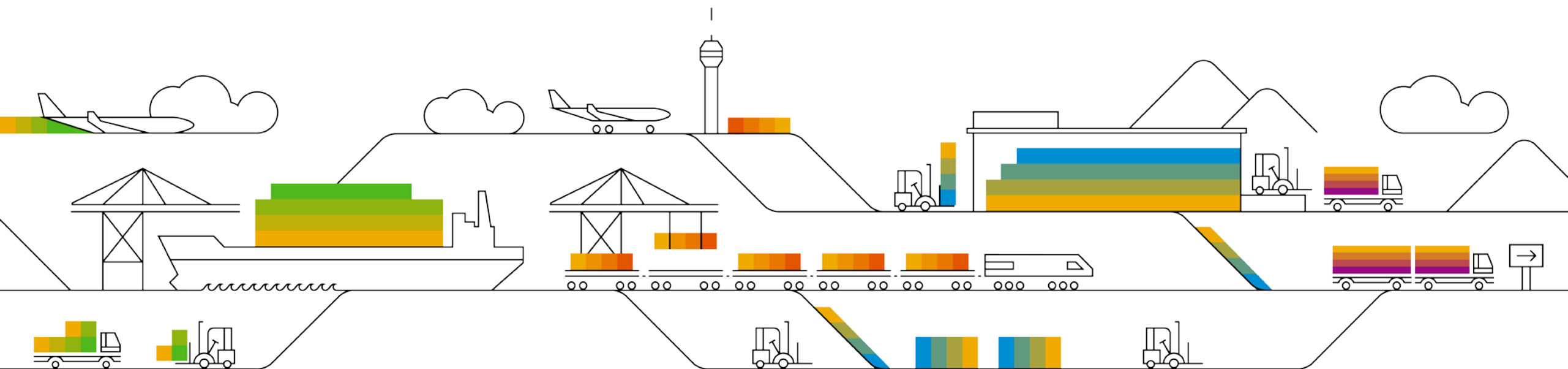
金融・IT ネットワークシステム (XML新システム)の構築



- 1' 6' は、個別金融機関が任意で自行システムを改修し、企業から直接(新システムを介さずに)XML電文による指図を受け付ける場合。
- インターネットバンキング(ファイルアップロードダウンロード)については、1' 6' を採用。
- 新システムはプラットフォームであるため、EBサービスの申込対応等は、各金融機関で実施。

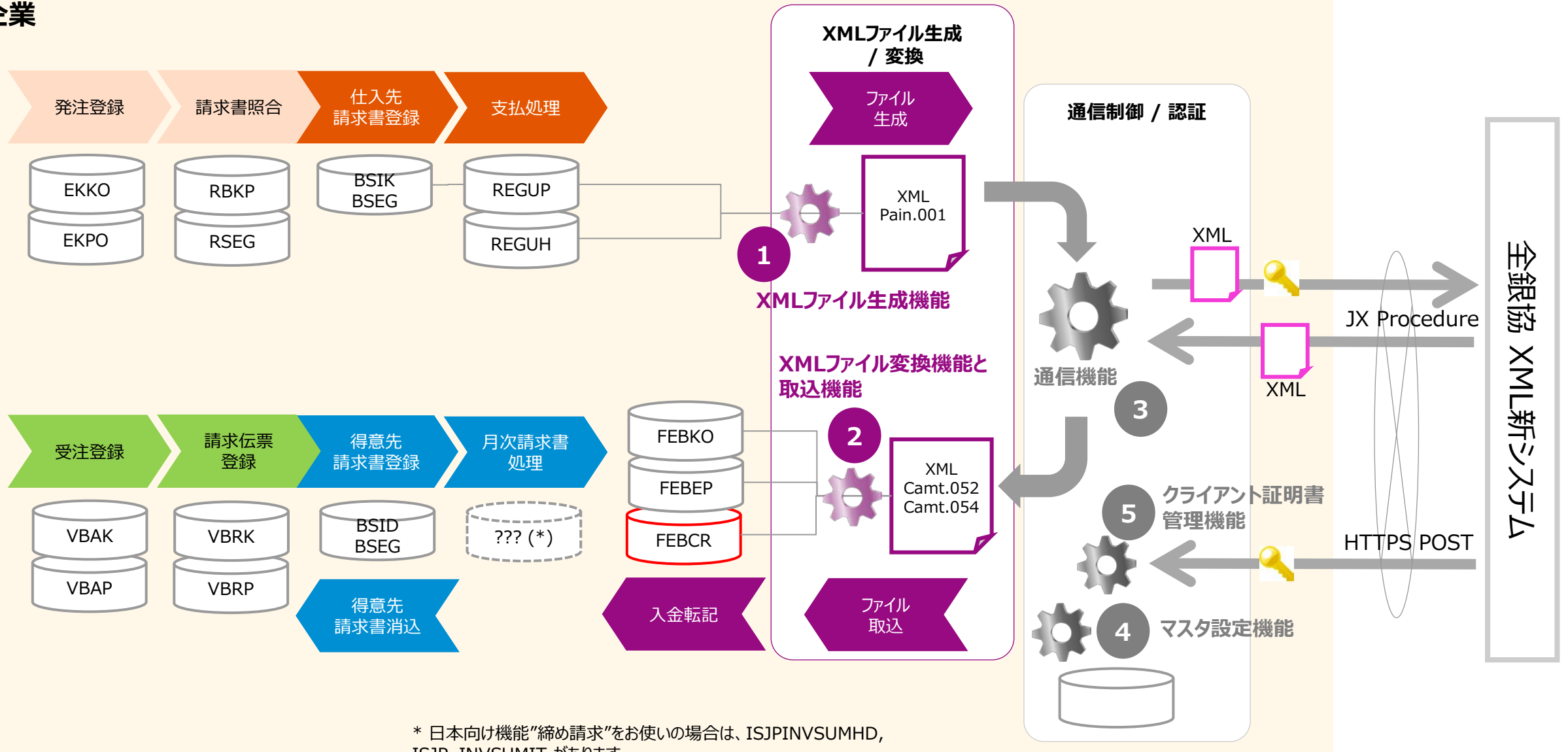
(概要)ERPシステムと全銀協XML新システム

(注)「全銀ネット・XML新システム(金融・ITネットワークシステム) API仕様書説明会」での配布資料より引用して、SAPジャパンで加工したものです。



ERPシステムと全銀協XML新システムの概要

企業



* 日本向け機能“締め請求”をお使いの場合は、ISJPINVSUMHD, ISJP_INVSUMIT があります。

企業側に求められる機能要件

	分類	対応機能	対応機能詳細
1	XMLファイル生成 / 変換	XMLファイル生成機能	支払情報およびEDI情報※を元に、XML新システム向けに総合振込XMLファイル(pain.001)の作成機能を提供する。 ※EDI情報については、base64でエンコードを実施する。 例)従来の総合振込固定長ファイルを読み込み、EDI情報を付加し、XMLファイルを作成する、等。
2	XMLファイル生成 / 変換	XMLファイル変換機能と取込機能	XML新システムから受領する振込入金通知、入出金取引明細XMLファイル(camt.052、camt.054)を元に、受取企業向けにEDI情報※を還元し、入金消込ができる機能を提供する。 ※EDI情報については、base64でデコードを実施する。 例)XMLファイルを読み込み、入金消込用にCSV等ファイルに変換する、等。
3	通信制御 / 認証	通信機能	XML新システムとJX手順によってXMLファイルを送受信する機能を提供する。 (伝送制御情報等を設定するBAHを作成、クライアント証明書による認証を実施する)
4	通信制御 / 認証	マスタ設定機能	XML新システムとの通信を行う際の伝送先情報、JX通信情報(サイクル番号等)、クライアント証明書情報を設定する機能を提供する。
5	通信制御 / 認証	クライアント証明書管理機能	クライアント証明書の有効期限管理、登録・更新機能を提供する。

EDI情報の設定について

- XMLファイルのEDI情報は、Unstructured タグ (<Ustrd>タグ)に設定します。このタグは、1文字から140文字の範囲の文字数の設定が可能であり、EDI情報が140文字を超える場合は、Unstructured タグを複数回繰り返し設定することが可能とされています。
- Unstructured タグにはXMLタグを含むデータ設定はできないため、EDI情報としてXMLタグを含むデータを設定する場合は、MINEヘッダーを付加し、base64 エンコードを実施する必要があります。

EDI情報データイメージ
base64エンコード前

```
<Ustrd>
<PayAdvNum>1234512345</PayAdvNum>
<IssueDate>20170831</IssueDate>
<MonthlyInvNum>1200817264</MonthlyInvNum>
<CorpNum>1234567890123</CorpNum>
<ProdName>Mt Fuji Water2L</ProdName>
<Price>220</Price>
<Quantity>10</Quantity>
</Ustrd>
```

EDI情報データイメージ
base64エンコード後

```
PD94bWwgdMvYc2lvcj0iMS4wIiB1bmNvZGluZz0iVVRGLTgiPz4NCjxEXXRhPg0KICA8VXN0cmQ+DQogICAgPFBheUFkd51bT4xMjMONTeyMzQ1PC9QYXIBZH0dW0+DQogICAgPElzc3V1RGF0ZT4yMDE3MDgzMTwvSXNzdWVEYXRIPg0KICA8IDxNb250aGx5SW52TnVtPjEyMDA4MTcyNjQ8L01vbnRobH1JbnZ0dW0+DQogICAgPENvcnB0dW0+MTIzNDU2Nzg5MDEyMzwvQ29ycE51bT4NCiAgICA8UHJvZE5hbWU+TXRGdWppV2F0ZXIyTDwvUHJvZE5hbWU+DQogICAgPFByaWNIPjIyMDwvUHJpY2U+DQogICAgPFF1YW50aXR5PjEwPC9RdW0udG10eT4NCiAgPC9Vc3RyZD4NCjwvRGF0YT4=
```

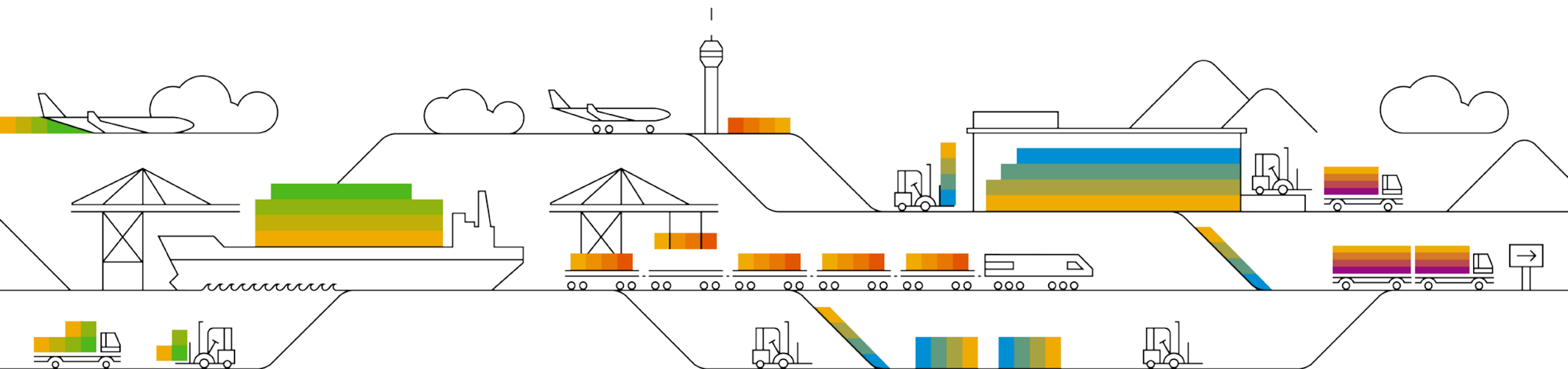
EDI情報データイメージ
<Ustrd>タグ設定後

```
<Ustrd>MIME-Version: 1.0</Ustrd>
<Ustrd>Content-Type: Text/XML</Ustrd>
<Ustrd>Content-Transfer-Encoding: base64</Ustrd>
<Ustrd>PD94bWwgdMvYc2lvcj0iMS4wIiB1bmNvZGluZz0iVVRGLTgiPz4NCjxEXXRhPg0KICA8VXN0cmQ+</Ustrd>
<Ustrd>DQogICAgPFBheUFkd51bT4xMjMONTeyMzQ1PC9QYXIBZH0dW0+DQogICAgPElzc3V1RGF0ZT4y</Ustrd>
<Ustrd>MDE3MDgzMTwvSXNzdWVEYXRIPg0KICA8IDxNb250aGx5SW52TnVtPjEyMDA4MTcyNjQ8L01vbnRobH1JbnZ0dW0+DQogICAgPENvcnB0dW0+MTIzNDU2Nzg5MDEyMzwvQ29ycE51bT4NCiAgICA8UHJvZE5hbWU+TXRGdWppV2F0ZXIyTDwvUHJvZE5hbWU+DQogICAgPFByaWNIPjIyMDwvUHJpY2U+DQogICAgPFF1YW50aXR5PjEwPC9RdW0udG10eT4NCiAgPC9Vc3RyZD4NCjwvRGF0YT4=</Ustrd>
```

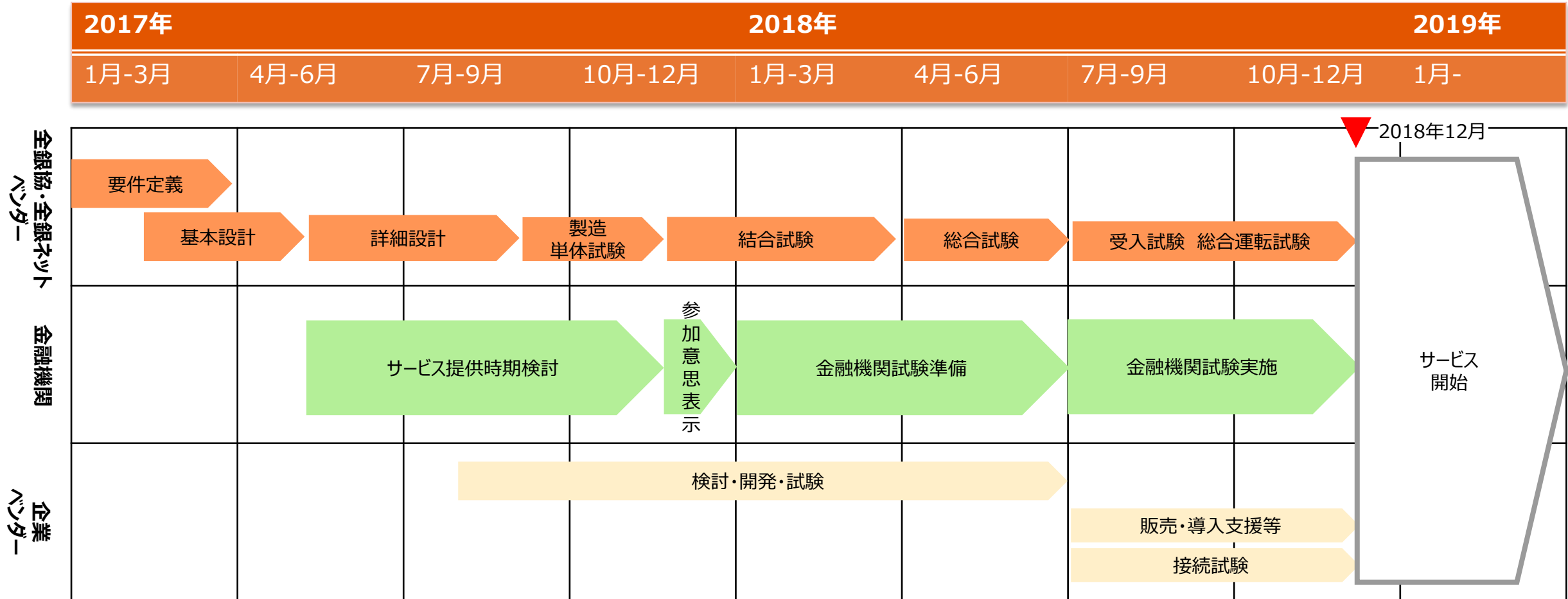
4行目以降にbase64エンコード実施後の文字列を76文字毎に改行して、各行を<Ustrd>タグで囲む

(開発スケジュール) XML新システム

(注)「全銀ネット・XML新システム(金融・ITネットワークシステム) API仕様書説明会」での配布資料より引用して、SAPジャパンで加工したものです。



開発スケジュール



© 2017 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or for any purpose without the express permission of SAP SE or an SAP affiliate company.

The information contained herein may be changed without prior notice. Some software products marketed by SAP SE and its distributors contain proprietary software components of other software vendors. National product specifications may vary.

These materials are provided by SAP SE or an SAP affiliate company for informational purposes only, without representation or warranty of any kind, and SAP or its affiliated companies shall not be liable for errors or omissions with respect to the materials. The only warranties for SAP or SAP affiliate company products and services are those that are set forth in the express warranty statements accompanying such products and services, if any. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty.

In particular, SAP SE or its affiliated companies have no obligation to pursue any course of business outlined in this document or any related presentation, or to develop or release any functionality mentioned therein. This document, or any related presentation, and SAP SE's or its affiliated companies' strategy and possible future developments, products, and/or platform directions and functionality are all subject to change and may be changed by SAP SE or its affiliated companies at any time for any reason without notice. The information in this document is not a commitment, promise, or legal obligation to deliver any material, code, or functionality. All forward-looking statements are subject to various risks and uncertainties that could cause actual results to differ materially from expectations. Readers are cautioned not to place undue reliance on these forward-looking statements, and they should not be relied upon in making purchasing decisions.

SAP and other SAP products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of SAP SE (or an SAP affiliate company) in Germany and other countries. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.

See <http://global.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx> for additional trademark information and notices.